

[分類] 普及技術

[成果名] あんずのアブラムシ類防除にダントツ水溶剤が有効である

[要約] あんずのアブラムシ類防除にダントツ水溶剤の4,000倍液を散布する。特に蚕毒が強いので、桑にかからないよう桑園付近では使用しない。また、ミツバチやマメコバチなどに対して影響が大きいため、花粉媒介昆虫を使用している時期には散布しない。

[担当] 果樹試験場病害虫土壌肥料部

[部会] 病虫部会

1 背景・ねらい

あんずのアブラムシ類防除薬剤を充実するため、収穫3日前まで使用できるダントツ水溶剤の防除効果を検討する。

2 成果の内容・特徴

(1) あんずのアブラムシ類防除にダントツ水溶剤4,000倍液を散布する。

農薬登録内容

ダントツ水溶剤

[一般名及び成分含量] クロチアニジン 16%

[人畜毒性] 普通物 [魚毒性] A類

[対象作物に対する適用登録状況（平成20年9月26日現在JPPネット確認）]

作物名	適用害虫	希釈倍数	使用量 リットル／10 a	使用時期	本剤及びクロチアニジンを含む農薬の 総使用回数	使用 方法
あんず	アブラムシ類	4,000倍	200～700	収穫3日前まで	3回以内	散布

3 利用上の留意点

- (1) 本剤はネオニコチノイド系殺虫剤である。速効性と強い浸透移行性を併せ持つ。
- (2) 特に蚕毒が強いので、桑にかからないよう桑園付近では使用しない。
- (3) ミツバチ、マメコバチなどに対して影響が大きいため、花粉媒介昆虫を使用している時期には使用しない。また、ミツバチを放飼している地域では使用を避ける。
- (4) アブラムシ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、年1回の散布を厳守し、他剤とローテーションで使用する。

4 対象範囲

県下全域

5 具体的データ

- (1) 平成15、16、20年にあんずのウメコブアブラムシを対象に防除試験を実施した。いずれの年も散布約3週間後まで対照薬剤と同等の高い密度抑制効果が認められた（表1、2、3）。
- (2) いずれの試験においても、あんずに対する薬害は認められなかった。

表1 あんずのウメコブアブラムシに対するダントツ水溶剤の防除効果-1 (果樹試・平成15年)

供試薬剤	希釈 倍数	1新梢当たり寄生無翅虫数					薬害
		散布直前	散布3日後	散布8日後	散布14日後	散布24日後	
ダントツ水溶剤	4,000	157.3	0	0	0.1	0	無 無
アドマイヤーフロアブル	5,000	151.9	0	0	0.5	0.8	
無処理	—	126.9	133.3	221.2	247.0	101.2	

試験場所：果樹試験場内。耕種概要：品種「信陽」8年生。区制：1区1樹、2反復。表中の数値は2区平均。発生程度：中発生。散布方法：平成15年5月6日に1樹当たり30リットルを動力噴霧機で散布した。展着剤添加。調査方法：散布直前にアブラムシ類が寄生する新梢を各樹10本ずつマークし、表中の所定日にマーク新梢に寄生する無翅虫数を調査した。

表2 あんずのウメコブアブラムシに対するダントツ水溶剤の防除効果-2 (果樹試・平成16年)

供試薬剤	希釈 倍数	1新梢当たり寄生無翅虫数					薬害
		散布直前	散布3日後	散布7日後	散布14日後	散布21日後	
ダントツ水溶剤	4,000	50.6	0.2	0	0	0	無 無
アドマイヤーフロアブル	5,000	31.0	0	0	0	0	
無処理	—	60.4	80.0	110.1	189.6	82.1	

試験場所：果樹試験場内。耕種概要：品種「信陽」9年生。区制：1区1樹、2反復。表中の数値は2区平均。発生程度：中発生。散布方法：平成16年4月23日に1樹当たり20リットルを動力噴霧機で散布した。展着剤添加。調査方法：散布直前にアブラムシ類が寄生する新梢を各樹10本ずつマークし、表中の所定日にマーク新梢に寄生する無翅虫数を調査した。

表3 あんずのウメコブアブラムシに対するダントツ水溶剤の防除効果-3 (果樹試・平成20年)

供試薬剤	希釈 倍数	無翅虫の寄生指数					薬害
		散布前日	散布2日後	散布6日後	散布13日後	散布20日後	
ダントツ水溶剤	4,000	6.0	0.3	0	0	0	無 無
モスピラン水溶剤	4,000	6.0	0.1	0	0	0	
無処理	—	6.0	5.5	5.1	4.6	4.5	

試験場所：果樹試験場内。耕種概要：品種「信陽」13年生。区制：1区1垂主枝、反復なし。発生程度：中発生。散布方法：平成20年4月23日に十分量を蓄電式噴霧機で散布した。展着剤添加。調査方法：散布直前にアブラムシ類が100~200頭程度寄生する新梢を各垂主枝30本ずつマークし、表中の所定日にマーク新梢に寄生する無翅虫数を下記グレード別に調査した。

寄生度（新梢当たり寄生無翅虫数）：

0 = 寄生なし。1 = 1~19頭。2 = 20~39頭。3 = 40~59頭。4 = 60~79頭。5 = 80~99頭。6 = 100頭以上。

寄生指数 = Σ (寄生度 × 該当新梢数) / 調査新梢数

6 その他特記事項

[公開] 制限なし

[課題名、研究期間、予算区分]

果樹の病害虫防除農薬の効果試験、平成15、16、20年度（2003、2004、2008年度）、民間受託他